

# サブドレン稼働状況について

2019年11月15日  
東京電力ホールディングス株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

## サブドレン稼働概要

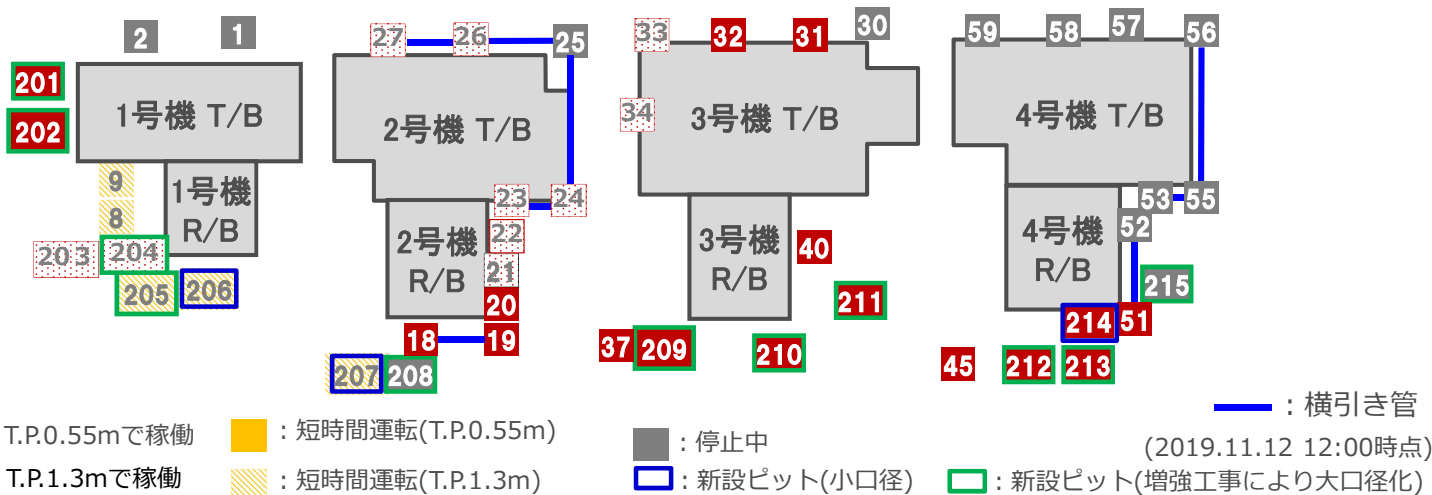
対象ピット	期間	設定値(m)		
		L値	H値(大口径)	H値(小口径)
周辺ピット	2019/2/1~(中継タンクNo.4, 5系統) <sup>※3</sup>	T.P.0.95	T.P.1.15	T.P.1.45
	2019/2/14~(中継タンクNo.1~3系統) <sup>※3</sup>	T.P.0.95	T.P.1.15	T.P.1.45
	2019/5/30~ <sup>※1</sup>	T.P.0.55	T.P.0.75	T.P.1.05
No.205~ No.208	2019/7/23~ (No.205) <sup>※2</sup>	T.P.1.15	T.P.1.35	-
	2019/10/3~ (No.206) <sup>※2</sup>	T.P.0.7	-	T.P.1.2
	2019/10/3~ (No.207) <sup>※2</sup>	T.P.0.7	-	T.P.1.2
	2019/4/11~ (No.208) <sup>※2, ※4</sup>	T.P.1.15	T.P.1.35	-

※1 滞留水移送ポンプ要起動水位をT.P.0.25m-塩分補正值⇒T.P.0.15m-塩分補正值, サブドレン設定水位をT.P.0.65m⇒T.P.0.55mへ変更

※2 地盤改良工事後のトリチウム濃度低減効果調査のため, サブドレン設定水位を順次低下予定(参考5)

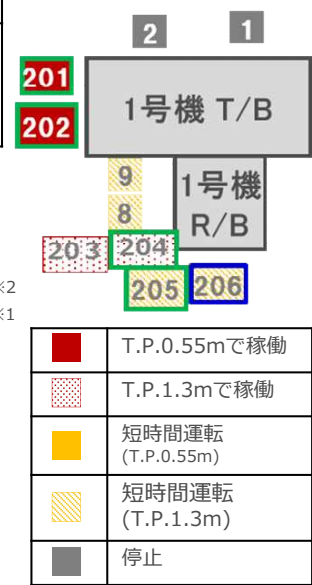
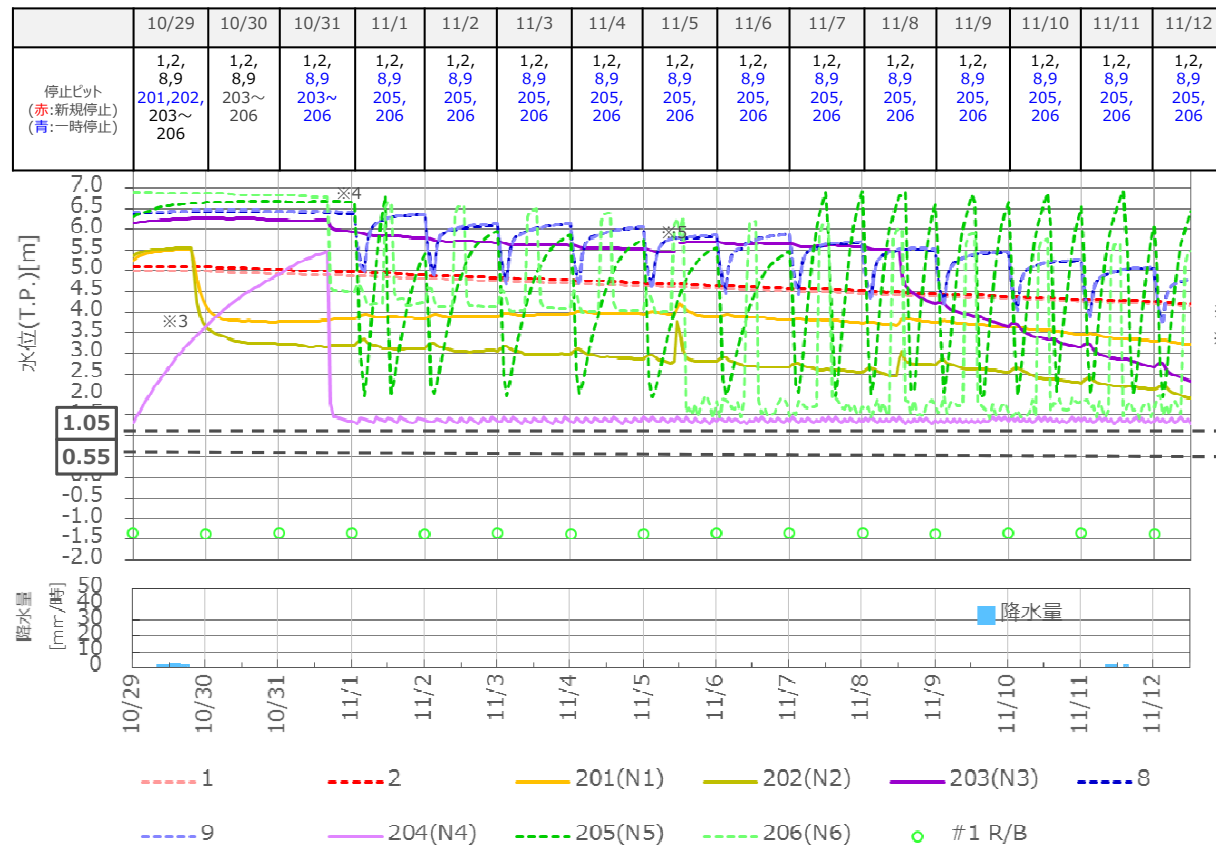
※3 地下水の建屋流入量低減のため, 大口径ピットを対象にH値の設定値を順次縮小予定(参考6)

※4 1・2号機排気筒解体工事に伴い一時停止予定(7/8~11/21)



無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

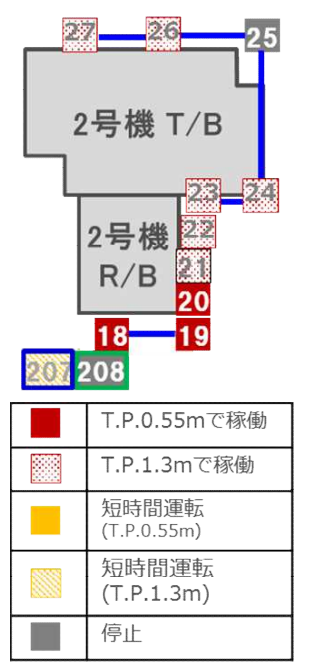
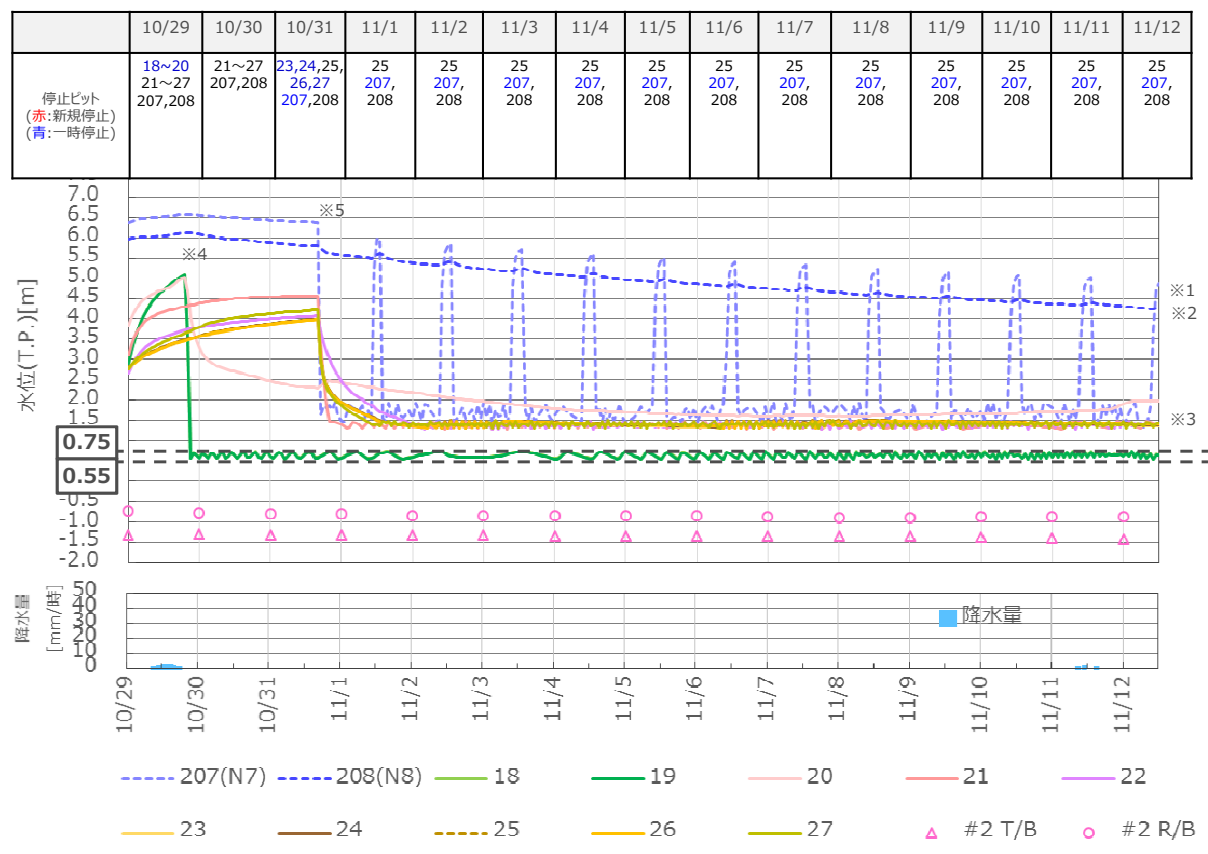
# 至近の水位変動(1号機)



- ※1 No.1,2ビットにおいて全β・トリチウム濃度上昇に伴い停止
- ※2 No.8,9,205,206ビットにおいて1~2号排気筒周辺地盤改良に伴い短時間運転実施
- ※3 1Rw・2T/B水位比較用ビット以外を運転再開
- ※4 1Rw・2T/B水位比較用ビットのL値をT.P.1300mmに上げて運転再開
- ※5 No203#2交換のため一時停止

TEPCO ※サブドレン水位は毎時データ (実線が24時間自動運転のビット) 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

# 至近の水位変動(2号機)



- ※1 No.207ビットにおいて1~2号排気筒周辺地盤改良に伴い短時間運転実施
- ※2 No.208ビットにおいて1~2号排気筒解体工事に伴い7/8~11/21停止予定
- ※3 No.25ビットにおいて全β・トリチウム濃度上昇に伴い運転停止
- ※4 1Rw・2T/B水位比較用ビット以外を運転再開
- ※5 1Rw・2T/B水位比較用ビットのL値をT.P.1300mmに変更して運転再開

TEPCO ※サブドレン水位は毎時データ (実線が24時間自動運転のビット) 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社



# 中継タンクくみ上げ量

単位：m<sup>3</sup>

	サブドレン					
	1	2	3	4	5	合計
10/29	118	34	73	130	84	439
10/30	47	46	106	233	158	590
10/31	70	80	160	393	243	946
11/1	300	119	186	355	199	1,159
11/2	310	126	196	376	201	1,209
11/3	228	121	178	355	167	1,049
11/4	194	112	170	348	146	970
11/5	217	118	175	353	160	1,023
11/6	117	94	142	320	92	765
11/7	141	93	150	325	110	819
11/8	130	100	145	315	102	792
11/9	120	155	141	303	96	815
11/10	116	154	135	289	89	783
11/11	110	152	131	275	81	749
平均						865

サブドレンは前日11時から24時間、地下水ドレンは当日0時から24時間の汲み上げ量を示す。



無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

# サブドレン水質一覧(2019.11.12現在)

単位：Bq/L

既設ビット	建屋	ビット	セシウム	セシウム	全β	トリチウム	採取日
			134	137			
既設ビット	1号機	1	8	100	11,700	130	2019.10.28
			6	110	11,300	190	2019.11.6
		2	5.3	4.3	37,200	120	2019.10.28
			5.3	4.3	7,700	120	2019.11.8
		8	4.1	12	13	300	2019.10.28
			4.0	42	40	270	2019.11.6
		9	6	95	130	2,600	2019.10.28
			9	120	160	2,200	2019.11.6
		2号機	18	8	140	170	720
	13			140	170	720	2019.11.8
	19		52	660	860	540	2019.10.28
			30	460	600	1,000	2019.11.8
	20		5.8	4.4	11	310	2019.3.7
			5.1	4.4	26	920	2019.9.17
	21		3.3	11	14	610	2019.9.17
			5.3	23	20	720	2019.11.6
	22		7.6	22	32	490	2019.9.17
			6.0	22	32	1,400	2019.11.6
	23	47	610	780	4,100	2019.10.25	
		41	670	910	4,200	2019.11.6	
	3号機	24	110	1,600	2,200	9,100	2019.10.25
			69	1,100	1,800	6,900	2019.11.6
		25	110	2,300	2,600	18,000	2019.10.25
			160	2,600	3,400	18,000	2019.11.6
		26	40	660	890	3,400	2019.10.29
	14		250	400	200	2019.11.6	
	3号機	27	20	340	710	1,300	2019.10.29
18			300	1,300	300	2019.11.6	
30		2,700	41,000	42,000	350	2019.10.28	
		920	14,000	19,000	720	2019.11.8	
31	4.3	18	510	660	2019.2.21		
	5.0	7	870	320	2019.9.17		
32	5.1	4.0	12	1,060	2019.10.11		
	4.3	5.2	9.4	800	2019.11.8		
33	4.6	3.8	12	1,300	2019.9.17		
	4.1	4.4	13	1,000	2019.11.6		
34	3.0	25	35	1,300	2019.9.17		
	4.3	22	31	2,200	2019.11.6		
37	5.0	4.9	13	140	2019.9.18		
	4.3	5.1	10	180	2019.11.6		
40	4.1	7	13	190	2018.10.3		
	10	180	190	210	2019.9.17		

既設ビット	建屋	ビット	セシウム	セシウム	全β	トリチウム	採取日
			134	137			
既設ビット	4号機	45	4	7	12	120	2017.9.28
			2.7	4.7	12	110	2019.9.18
		51	3.3	4.8	12	170	2019.3.14
			4.5	4.4	12	110	2019.9.18
		52	4.5	5.1	11	120	2019.9.19
			4.2	5	10	110	2019.10.25
		53	4.1	5.6	11	120	2019.9.18
			5.3	5	10	110	2019.10.25
		55	4.2	4.4	11	120	2019.9.19
			3.8	4	10	110	2019.10.25
		56	6.0	4.8	11	120	2019.10.25
			4.1	4.6	9.4	120	2019.11.8
		57	5.3	39	31	120	2019.10.28
			4.3	3.8	13	120	2019.11.8
		58	4.8	4.4	25	260	2019.9.19
	3.7		5	70	180	2019.10.25	
	59	5.0	6.3	50	450	2019.9.19	
		3.5	4	37	410	2019.10.25	
	1号機	201	4.0	4.4	10	890	2019.9.17
			5.0	5.0	8.2	450	2019.10.28
		202	4.6	3.4	10	120	2019.9.17
			3.6	4.2	8.2	120	2019.10.28
		203	5.0	3.4	12	110	2019.10.28
			4.8	3.9	11	120	2019.11.6
		204	5.1	3.8	13	1,400	2019.10.28
			5.0	4.2	11	1,500	2019.11.6
		205	3.9	4.6	13	8,100	2019.10.28
4.1			5.1	11	13,000	2019.11.6	
206		37	670	730	2,400	2019.10.28	
		4.5	29	34	2,300	2019.11.6	
2号機	207	6.0	15	14	480	2019.10.28	
		4.6	46	58	1,700	2019.11.6	
	208	5.9	34	39	4,900	2019.6.19	
		3.5	12	13	3,200	2019.7.2	
	209	5.7	4.8	12	340	2019.9.27	
		3.6	4.1	13	200	2019.10.25	
3号機	210	4.3	3.8	12	110	2019.3.14	
		3.9	4.8	12	110	2019.9.18	
	4.6	4.4	10	120	2018.11.11		
4号機	211	4.1	4.7	12	112	2019.9.18	
		4.7	4.8	12	110	2019.3.14	
	212	5.9	5.3	12	110	2019.9.18	
		4.3	4.8	12	110	2019.3.14	
	2.8	3.4	11	130	2019.9.18		
213	2.7	4	12	190	2019.9.27		
	4.3	6	13	110	2019.10.25		
	4.6	4.0	11	120	2019.9.19		
214	5.1	4	12	110	2019.10.25		
	5.1	4	12	110	2019.10.25		

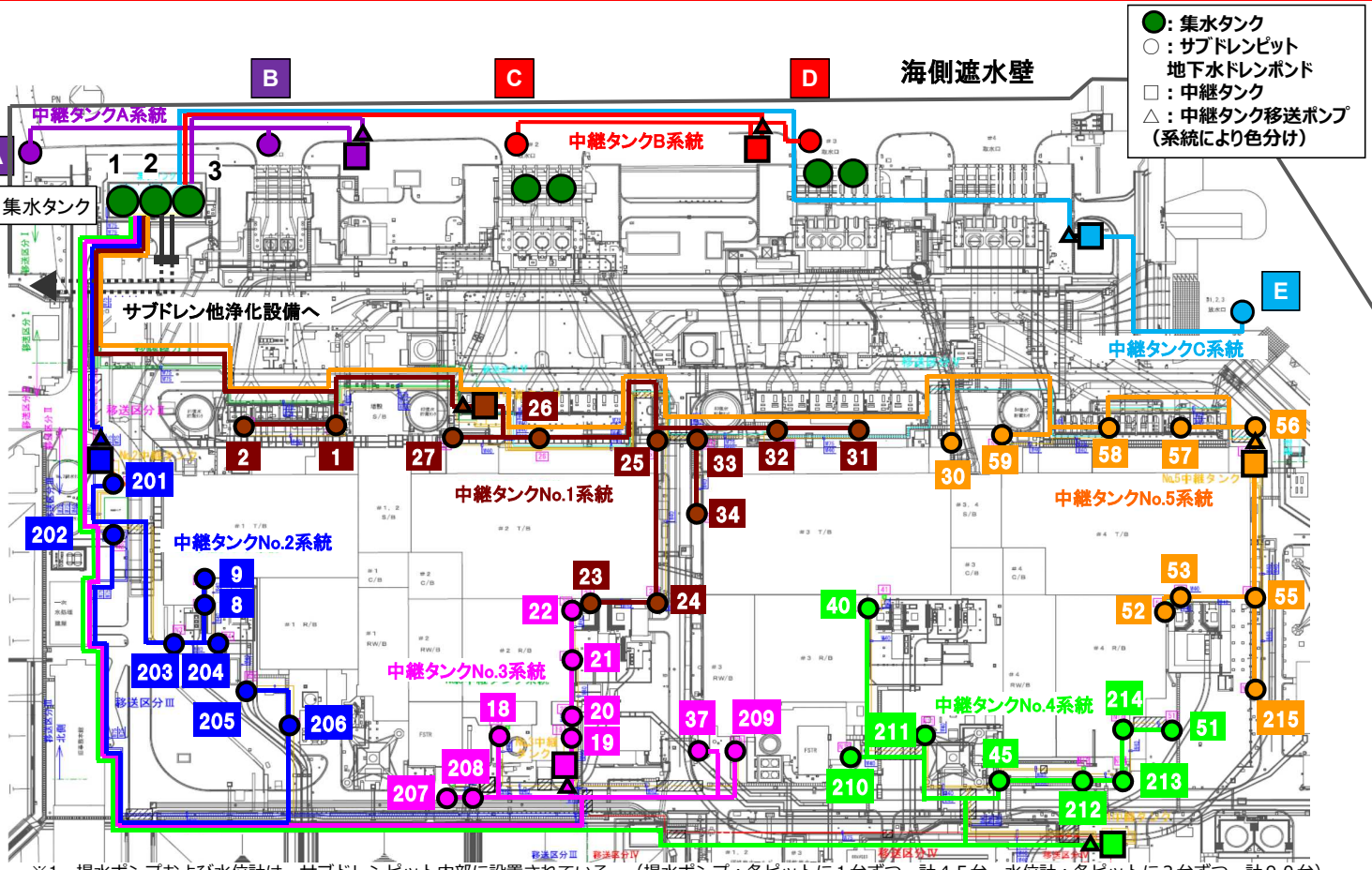
- 赤字は検出限界値未滿を表す
- ハッチングは今回更新箇所を示す。



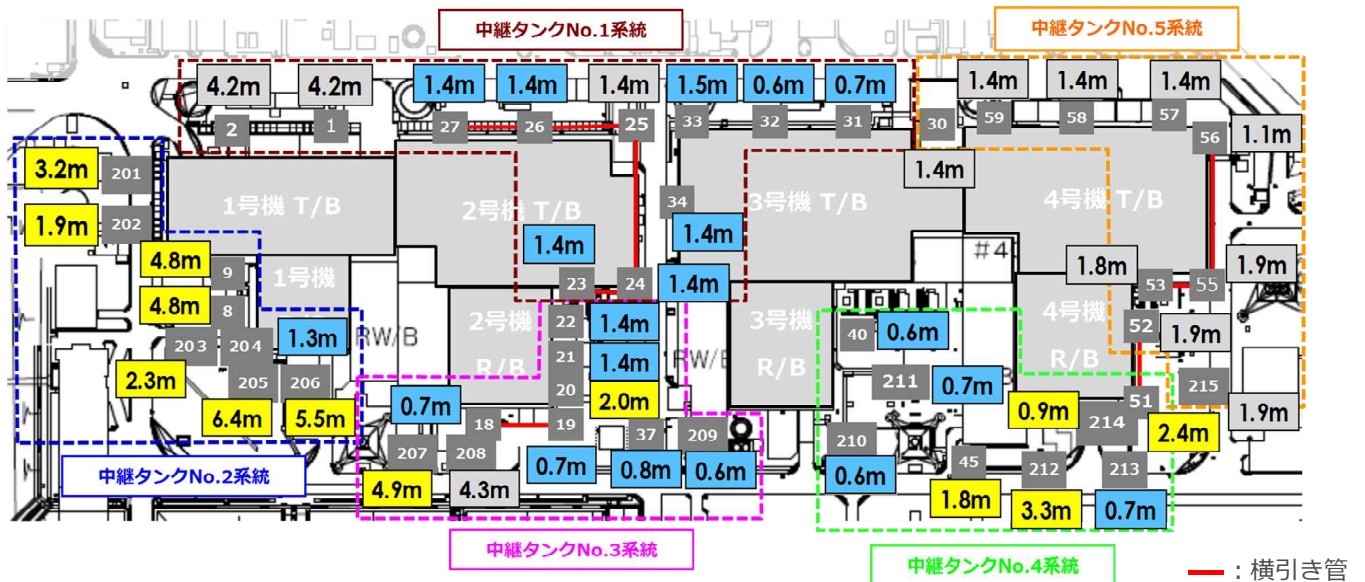
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社



# 【参考1】サブドレン・地下水ドレン 中継タンク系統図



# 【参考2】地下水位の状況について(2019.11.12現在)





## 水位の凡例

- : 設定水位範囲内 (19基/45基)
- : 設定水位より高め (13基/45基)
- : 停止中(13基/45基)

保全計画		
対象設備	実施内容	実施時期
No.5中継タンク	タンク・移送配管清掃	11/11~11/22

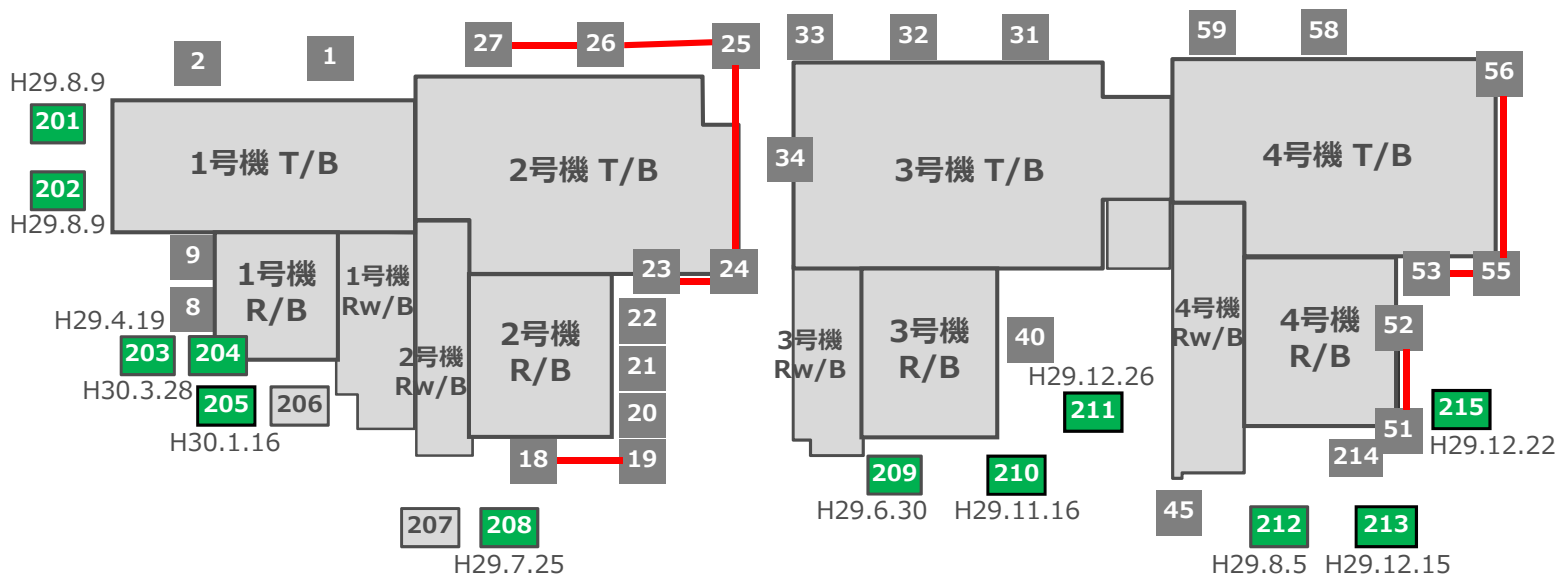
# 【参考3】 サブドレン集水設備の稼働・保全スケジュール

	9月	10月	11月	12月
中継タンク～ 集水タンク間 洗浄		No.4中継タンク ・タンク清掃（系統停止） ・出口配管，移送配管清掃 （系統停止なし） 	No.5中継タンク ・タンク清掃（系統停止） ・出口配管，移送配管清掃 （系統停止なし） 	
ピット～ 中継タンク間 洗浄	No.51 No.59 No.55	No.211 No.210 No.45 No.207	No.203	

揚水ポンプ（交換：▼，清掃：▽） 配管清掃：◆

※上記工程は水位状況等に応じて、変更の可能性有り

# 【参考4】 サブドレン集水設備 増強工事の進捗



【凡例】

<span style="background-color: green; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : インサービ	<span style="background-color: blue; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 掘削中	<span style="background-color: red; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 掘削位置検討中
<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 設備工事中	<span style="background-color: purple; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 試掘中	<span style="background-color: grey; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 運用検討中

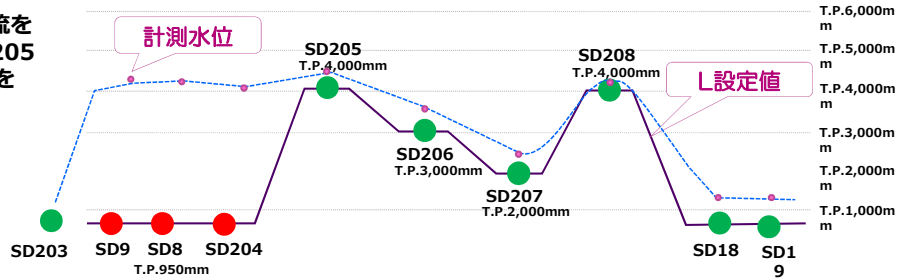
※図中のH○.○.○はインサービ日を表す

# 【参考5】 1 / 2号機山側サブドレンのトリチウム濃度上昇今後の対応

## 【地盤改良工事前】

汚染源と想定した1/2号機 排気筒周辺からの移流を抑制するため、SD206,207を連続で稼働しSD205 208については T.P.4,000mmで壁を作ることを指向。

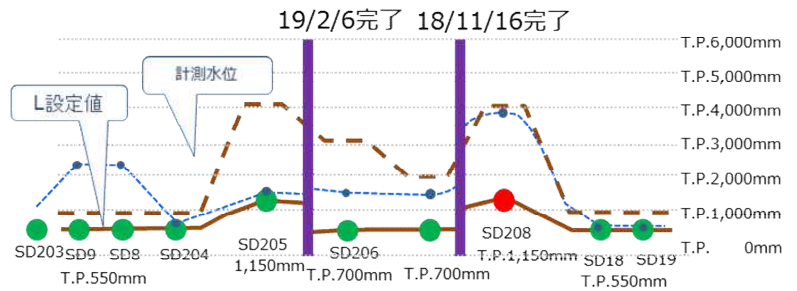
## 【改良工事前】 (2018.9~10時点)



## 【現時点：10/28時点】

- SD206~SD208について地盤改良後の水位応答、水質を検証するため稼働中。
- 現時点で水位応答ならびにH-3濃度に有意な変動は見られていない。

## サブドレンの設定水位 (10/28時点)



## 【工事前】

工事前	現在
SD205 T.P.4,000	⇒ T.P.1,150
SD206 T.P.3,000	⇒ T.P.700
SD207 T.P.2,000	⇒ T.P.700
SD208 T.P.4,000	⇒ T.P.1,150

## 【今後の予定】

水質を監視しながら、周辺水位と同等まで段階的に周辺ピット水位まで低下させていく。

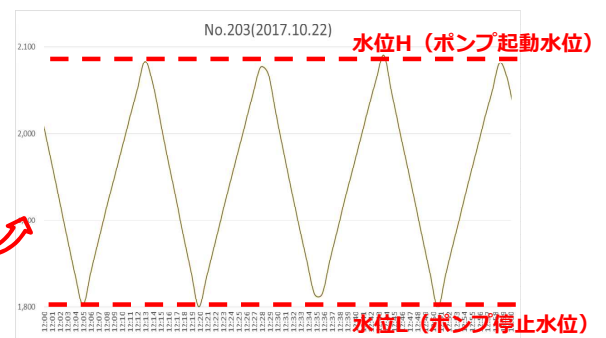
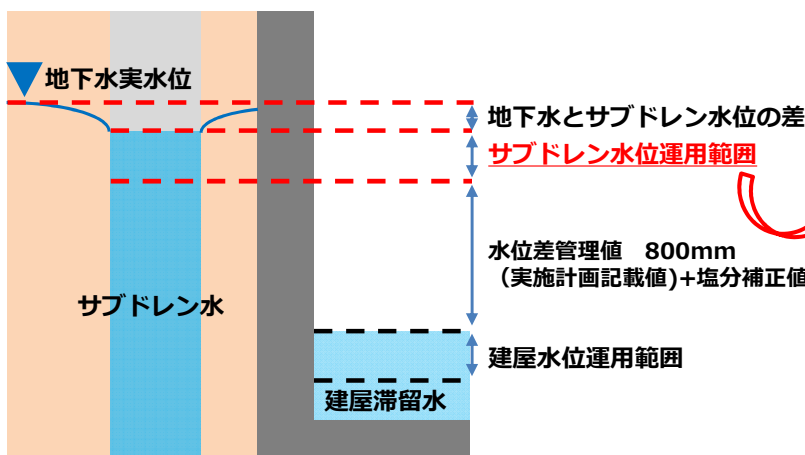
### 【稼働状態凡例】

● : 稼働 ● : 停止

— 地盤改良  
- - - 地盤改良工事前の設定水位  
— 現状の設定水位

# 【参考6】 サブドレンピット水位の運用範囲L~H間の縮小について

- 建屋滞留水が建屋外へ漏えいしないよう、周辺の地下水水位建屋水位より一定差以上に高く維持する水位差管理（サブドレンポンプ停止水位 - 滞留水ポンプ起動水位間800mm確保）を実施している。
- 実際の水位差としては、水位差管理値800mm + 実水位における水位差が上乘せされている。
- サブドレン水位運用範囲を縮小し揚水量を増加させることで、地下水実水位低下及び水位差縮小を図る。
- なお、水位管理値を縮小するものではないため、安全性への影響はない



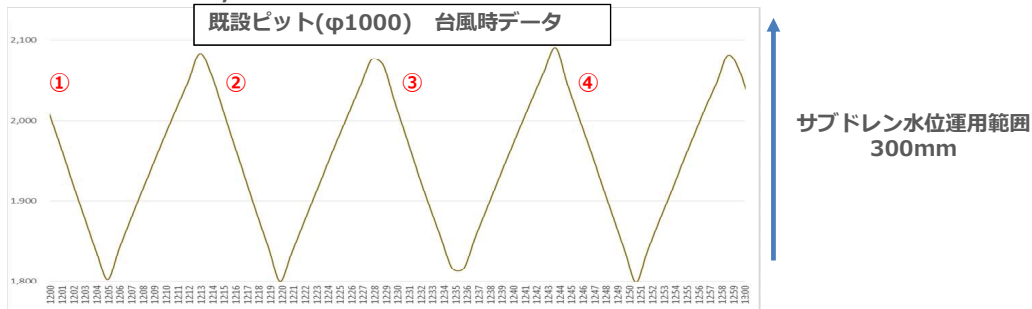
<水位H~L間の設定>  
 ・ 既設ピット(φ1000) : 300mm  
 ・ 新設ピット(φ 200) : 500mm

■ 運用範囲の設定根拠

- サブドレン稼働当初に、ポンプの機器保護を目的としてメーカー推奨値である「発停回数10回以下/h」を基準に設定
- 以下の通り、運用範囲の設定をしている。
  - ・ 既設ピット(φ1000) : 300mm ←見直し対象
  - ・ 新設ピット(φ 200) : 500mm ←見直し対象外 (定常時で10回程度発停)

■ 実績確認

- 過去の運用実績より、1時間あたりの発停回数を確認し運用範囲の縮小を検討する。



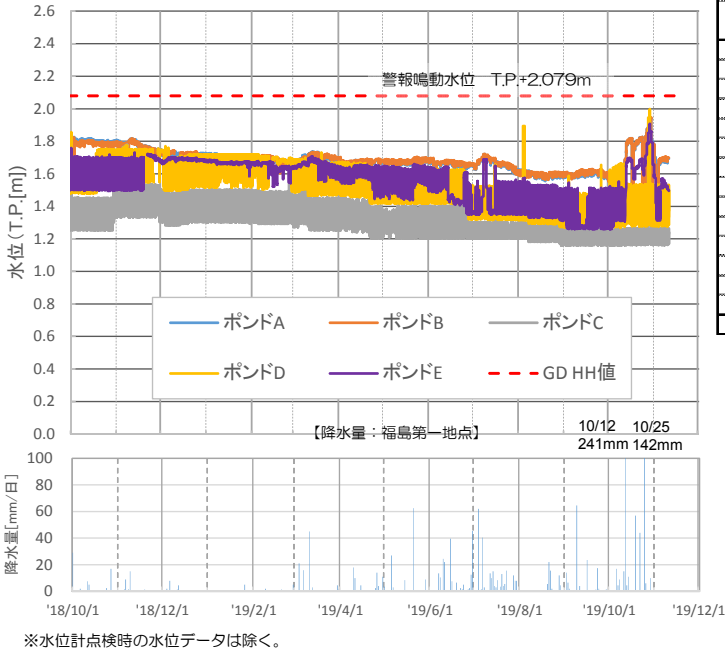
- 1時間あたりの最大発停回数は、台風襲来時でも4回程度であった。
- 過酷条件である雨季以外の定常期間では、3回程度であった。

■ まとめ

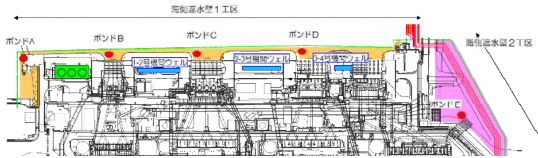
- 定常期間の発停回数を基に、試験的にサブドレン水位運用範囲を200mmに変更する。
- 運用範囲を2/3とすることから、ポンプの発停回数は現状の1.5倍が想定される。
- 今後各種データを確認し、適用拡大を検討する



【地下水ドレンポンド・観測井平均水位】



【配置図】



■ 地下水ドレン集水タンク及びT/B移送量(m³) 前日0:00より24時間

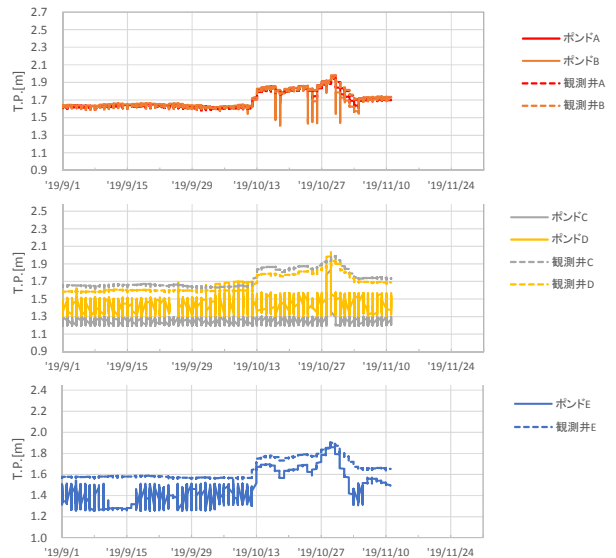
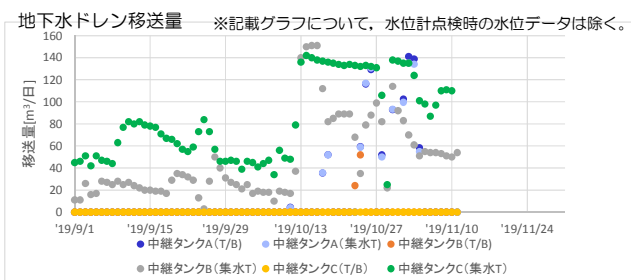
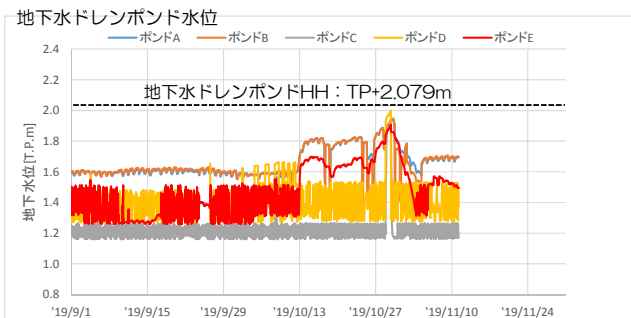
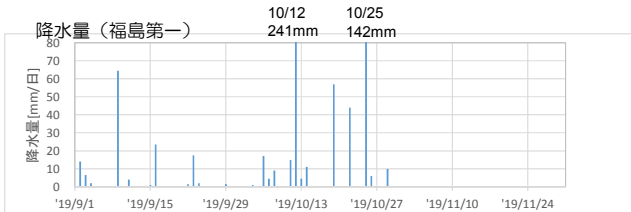
地下水ドレン	中継タンクA		中継タンクB		中継タンクC		集水タンク移送量合計	T/B移送量合計	移送量合計*
	集水タンク	T/B	集水タンク	T/B	集水タンク	T/B			
10/29	0	0	22	0	25	0	47	0	47
10/30	93	93	114	0	138	0	345	93	438
10/31	162	161	92	0	137	0	391	161	552
11/1	100	103	83	0	135	0	318	103	420
11/2	135	141	70	0	135	0	340	141	481
11/3	134	139	61	0	124	0	319	139	458
11/4	55	58	51	0	101	0	207	58	265
11/5	0	0	55	0	98	0	153	0	153
11/6	0	0	54	0	87	0	141	0	141
11/7	0	0	54	0	97	0	151	0	151
11/8	0	0	53	0	110	0	163	0	163
11/9	0	0	51	0	111	0	162	0	162
11/10	0	0	50	0	110	0	160	0	160
11/11	0	0	48	0	109	0	157	0	157
平均	48	50	61	0	108	0	218	50	268

■ ウェルポイントT/B移送量(m³) 前日0:00より24時間

ウェルポイント	#1-2間	#2-3間	#3-4間	合計*
10/29	27	25	8	60
10/30	22	41	6	69
10/31	30	31	0	60
11/1	21	29	7	57
11/2	26	25	0	50
11/3	16	24	6	47
11/4	21	20	0	41
11/5	14	18	0	32
11/6	15	17	7	39
11/7	20	18	0	38
11/8	16	11	0	27
11/9	21	11	0	31
11/10	9	10	0	19
11/11	22	10	9	41
平均	20	21	3	44

※ 合計値は小数点第一位のデータを合計しているため、個々のデータを合計した数値と合計値に差異がある場合があります。

## 地下水ドレン稼働状況および水位変化状況



- 通常時はポンドC～Dを稼働し、ポンドCの設定水位を一番低くして、H3の拡散抑制を継続。
- 集水タンクのSr濃度上昇抑制のため、サブドレンの稼働状況を踏まえて、各ポンドの設定水位の変更及び流量調整等を都度、実施。
- また、観測井水位と降雨予報も踏まえ、適宜、ポンドの稼働や観測井からの揚水を実施

現時点における設定水位及び稼働状況

	H値	L値
ポンドA	T.P.1200mm	～ 1000mm
ポンドB	T.P.1200mm	～ 1000mm
ポンドC	T.P.1260mm	～ 1160mm
ポンドD	T.P.1460mm	～ 1260mm
ポンドE	T.P.1510mm	～ 1260mm

【稼働状況】

観測井の水位変動状況等に応じて稼働  
観測井の水位変動状況等に応じて稼働  
稼働中  
稼働中 (流量調整を適宜実施)  
観測井の水位変動状況等に応じて稼働

## ◆ 中継タンク

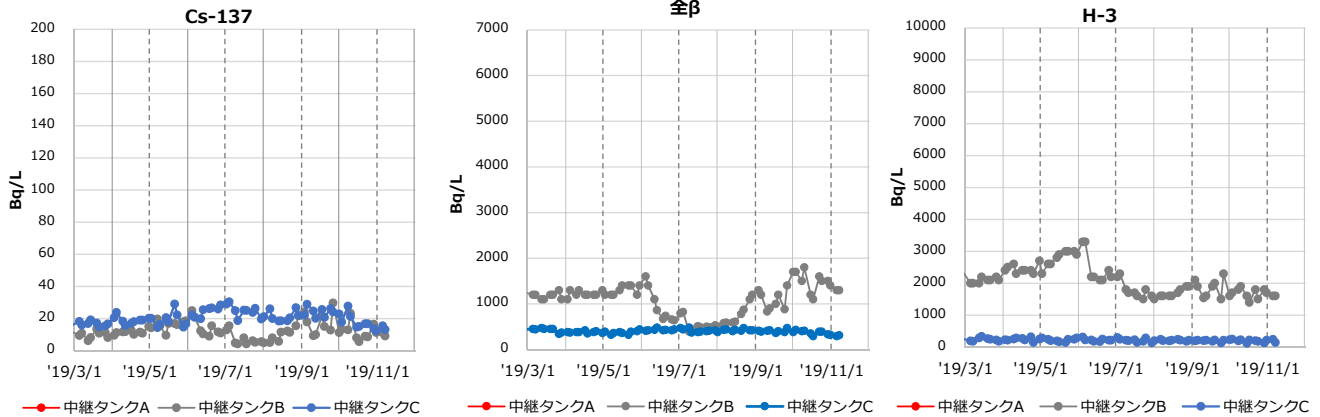
- セシウム137；中継タンクB, Cは10～30Bq/L程度で推移。
- 全β；中継タンクB, Cは, 500～2,000Bq/L程度で推移。
- トリチウム；中継タンクBは, 1,500～2,000Bq/L程度で推移。

(記載データ採取日)  
 中継タンクA；2017/12/8\*  
 中継タンクB, C；2019/11/7

(単位) Bq/L

中継タンク	セシウム137	全β	トリチウム
A	<4.4	3,600	1,800
B	9	1,300	1,600
C	13	310	140

※ ポンドA, B非稼働のため12/8以降サンプリング休止



## <参考>地下水ドレン汲み上げ水の水質 (ポンド別)

### ◆ ポンド

- セシウム137；ポンドCは, 100Bq/L程度で推移。
- 全β；ポンドA, B, Cは, 3,000～5,000Bq/L程度で推移。
- H-3；ポンドA, Bは, 1,000～2,000Bq/L程度で推移。  
 ポンドCは, 5,000Bq/L程度で推移。  
 ポンドDは, 1,500Bq/L程度で推移。

採取日 10/30

(単位) Bq/L

ポンド	セシウム137	全β	トリチウム
A	<5.3	2,200	600
B	6	2,800	2,500
C	133	3,000	6,700
D	<4.8	1,200	1,200
E	16	310	190

